

5 指導計画 全2時間(6Q)

別紙「単元カード」参照

6 本時の構想<第2日目> 2/2時間(45分授業)

(1) ねらい

「何が本当の思いやり・親切なのか」を相手の立場に立って考え、主人公とおじさんは互いを思い合っているということに気付くことを通して、自分にできるよりよい行為を見いだすことができる。

(2) 展開

学習活動と子どもの姿 ☆考えるすべ	教師の働き掛け
<p>1 「おじさんは、何か理由があって立っているのではないかと、おじさんが立っている理由をおじさんの視点に立って考える。」</p> <ul style="list-style-type: none"> おじさんが、何か理由があって立っているんじゃないかなということです。 おじさんは、どんな理由があって立っているのかなということなんです。 おじさんは、どうして「このままでいい」と言ったのかなということなんです。 <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎おじさんのことをもっと考えたい！ おじさんのことをもっと知りたい！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> もしかしたら、おじさんは自分で降りたかったんじゃないかな。 もしかしたら、一人でできるようになるための練習をしているのかもしれないよ。 立っていた方が楽だったんじゃないかな。 自分の力で乗り降りするとき、目が不自由だから、できるだけ出入り口の近くにいた方が乗り降りしやすいと思ったからです。 「心と心のあく手」のときのおばあさんは、リハビリで歩く練習をしていました。今回もそれと似ていて、目が不自由な人は、自分一人でも何とかできるようになるために練習をしているんじゃないかなと思います。 「ありがとう」って言っているから、感謝しているんだよ。だったら、気持ちはありがとうだ。 「自分の力でがんばるからね」とも思っているのかもしれない。 	<p>○説明「昨日の続きを考えましょう。昨日の最後、どんなことを考えたいと思っていたのですか」</p> <p>※資料A～Cの内容をレゴブロックを使いながら簡単に振り返る。</p> <p>○発問「どんな理由で、おじさんは立っているのだと思いますか」【働き掛け4】</p> <p>○発問「どうしてそう思うの？」 ※考えた理由を問い、それぞれの考え方の根拠(目が不自由な人に対しての個々の価値観)を表出させる。</p> <p>※「おじさんには、何か理由があったのではないかと」という視点から考えさせた後に資料Dを提示する。</p> <p>○説明「おじさんは、こんなことをぼくに言いました」 ※資料Dを読み聞かせ、資料を配付する。 ○発問「おじさんはどんな気持ちだったのでしょうか」</p> <p>※のりうつ～るハートの付箋を配付し、おじさんの気持ちを記述させる。</p>
<p>2 主人公とおじさんの共通点(互いに思い合っている「思いやり」)に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人の共通点だよな。 虹はかかるはずだよ。 ぼくは、おじさんを思っていると思います。だからこそ、席を譲ろうとしたはずですよ。 ぼくは、おじさんに対して優しさがあると思います。おじさんも、「ありがとう」と言っているから優しさがあると思います。優しさでつながると思います。 優しさもあると思うけれど、相手を思い合っているともいえると思います。 	<p>○説明「今まで、二人の気持ちについて考えてきました」</p> <p>○発問「二人には、つながるところはあるのでしょうか」【働き掛け5】</p> <p>○指示「のりうつ～るシートに書きましょう」</p> <p>※互いの気持ちから、相手に対してどのような思いがあるのかをのりうつ～るシートに記述させる。</p> <p>※つながると判断した場合には、のりうつ～るシートに虹を書き加え、共通点を書くように指示する。</p>

・行動は、反対のように見えるけれど気持ち
はつながっているんだね。

**3 普段の生活の中で、似たような場面に出会
ったら自分はどうしようと思うか考える。**

・一度声をかけてみて、断られたら見守りま
す。理由は、相手も自分の考えがあつて断
っていることがあると分かったからです。

・少しだけ、相手を見守って、「よかったら
座りませんか」と声を掛けてみます。まず、
相手が思っていることを聞くことも大事だ
と思うからです。

・なかなか声はかけられないと思います。そ
の人の考えがあつて立っていることもある
と分かったからです。ただ、心配なので見
守ろうと思います。

☆関係付けるすべ

★「相手がどんなことを思っているのかを考
えてから、その場の状況に合ったことをす
る」などと、相手意識をもち、その状況の
中で自分はどうするかを記述する。

○発問「普段の生活の中で、似たような場面
に出会ったとき、自分はどうします
か」

【働き掛け6】

○指示「のりうつ～るシートに自分の考えと、
理由を書きましょう」

※昨日と考えが変わったというつぶやきがあ
れば、考えが変わった理由も記述するよう
に伝える。

※時間があれば、数人の子どもに発表させる。

(3) 評 価

「何が本当の思いやり・親切なのか」を相手の立場に立って考え、主人公とおじさんは互
いを思い合っているということに気付くことを通して、自分にできるよりよい行為を見いだ
すことができる。